

こ う ほ く り よ く は っ け ん つ う し ん

港北力発見★通信

Vol.10

港北区の元気のもと発見！

〒222-0032 横浜市港北区大豆戸町26-1 Tel.045-540-2247 Fax.045-540-2245
 地域力発見プロジェクト事務局：港北区地域振興課地域力推進担当 福祉保健課事業企画担当
<http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/sinkou/kouhokuryoku/>



つくかなつくかな…？ついた！

NPO法人 街カフェ大倉山ミエル ～親子で火おこし体験～

夏の日差しがジリジリと照りつける7月23日午前。NPO法人街カフェ大倉山ミエルの“大倉山キッズ”事業のひとつ『火おこし・五感アート』が大倉山記念会館横の木陰で講師の吉川洋一郎先生を招いて開催されました。古代人にならって親子で火おこしをしようと25人の親子があつまりました。

「江戸時代は火打石で火をおこしていたといいますが、石と石を打ち合わせていたのではありません。」「ええ～ほんと～！」「石と鋼鉄をすり合わせると火花が出るのです。石と石では柔らかいほう欠けてしまうだけです。」そんな会話から火おこしのワークショップが始まりました。

みんながチャレンジしたのは古代発火法といわれるもの。芯が空洞になった空木(ウツギ、「♪～夏はきぬ～」に歌われた卯の花の枝です。)と、溝を切った柔らかな杉の板を擦り合わせて種火を起こし、麻糸をほぐした火口(ほぐち)

に移して発火させるものです。

ボタンを押すことしか知らない私たち。木と木を擦り合わせて火がつくことに驚きとともにちょっぴり神秘的な思いを抱いたひと時でした。

“大倉山キッズ”事業は、23日から28日まで大倉山記念館を会場に『森の学校』『パネルシアター』『ミニライブ』『松ぼっくりでリースを作ろう』『ダンボール迷路』など盛りだくさんの事業を行いました。



ヒモギリ式(紐撻式)

キリモミ式(錘撻み式)

ユミギリ式(弓撻式)

地域のチカラ応援事業補助金が決定しました

去る4月20日、区役所4階会議室で行われた公開提案会を経て、平成25年度の地域のチカラ応援事業補助金の交付が決定しました。この地域のチカラ応援事業は、地域の課題解決や地域住民のために自主的・主体的に行う団体の活動を応援するもので、団体の活動実績や事業内容の違いに応じて、「スタートアップコース」「チャレンジコース」「地域元気づくりコース」「パートナーシップコース」が設けられています。

公開提案会には、申請のあった45事業のうち「チャレンジコース」に応募した19事業の団体が参加。事業を評価する地域のチカラ応援事業推進懇話会委員をはじめ50人ほどの参加者にむかって、それぞれの活動への思いと創意工夫のプレゼンテーションが繰り広げられました。

決定されたのは40事業。スタートアップコース13事業、チャレンジコース18事業、地域元気づくりコース4事業。他に補助金の交付を受けずに、区が「後援」となるパートナーシップコース5事業です。次年度の募集は26年1月ごろに応募要項が決まり、募集を行う予定です。



事業について発表中



懇話会委員の皆さんも真剣に聞いています

「地域のチカラ応援事業」として活動している団体の一部を紹介します。

港北ふるさとテレビ局 ～区役所窓口で短編番組上映中～

港北の「今」を撮影、記録保存していけば、将来その映像が貴重な財産になると考え、地域の祭りや行事、区内の市民団体の活動を記録する活動を続けている「港北ふるさとテレビ局」。今までに記録した映像は数百点にのぼり、同団体の「港北ふるさとアーカイブス」に保存されています。そしてその映像をケーブルテレビなどに提供したり、独自でドキュメンタリー映画を制作し、港北公会堂で毎年開催される『港北ふるさと映画祭』で上映、活動の成果を発表してきました。

24年度から新たに取り組んでいるのが、デジタルサイネージ(電子看板)用の短編番組の制作と配信。港北区役所2階の戸籍課のテレビ画面で同団体の制作した番組が常時放送されているほか、地域の銀行や病院の待ち合わせロビーなどでも放送しています。

現在放送されている番組は、港北地域の祭りや公園を

紹介する「港北ふるさと散歩」のほか、港北の雑学クイズ番組「港北ふるさとトリビア」、昭和時代に撮影された古いフィルムを紹介する「昭和の映像」など。みなさんも是非ご覧になってはいかがでしょうか。なお、今年度の「港北ふるさと映画祭」は2014年2月22日(土)に港北公会堂(入場無料)で開催されます。こちらも皆さんお誘いあわせの上ご来場ください。



待ち時間にも楽しめませう



ちびっこシアター実行委員会 ～ペープサートの講習会開催～

7月27日、長年ひとみ座で活躍していた人形劇指導者の石原ひとみさん他を講師にむかえ、港北公会堂会議室で、ペープサートのワークショップ、親子コース「おどるこぶたくん」と指導者コース「赤ずきんにチャレンジ」を開催しました。

親子コースは、大人子どもあわせて15人が参加。色塗りに動かし方の指導、即席舞台での「こぶた」のダンスの発表までを楽しみました。

指導者コースには10人が参加。「赤ずきん」の役を決めて人形を作り、セリフと演技の指導をうけました。参加した保

育士や子育て支援者は、参考になったと喜びでした。短い時間でしたが充実した一時を過ごし、最後に自作のペープサートを手に記念写真を撮り、講習を終えました。



ペープサートの実演練習中



みんなで楽しかったね

ツチノコネット ～太尾南公園で楽しい親子遊び開催～

太尾南公園で公園あそびをしました。当日はぎらぎら照りつける太陽の下、25組の親子が集まって色水遊び、シャボン玉、ザリガニ釣りなどを楽しむことができました。

初めて参加する方、顔見知りになった方・・・いろいろな方が参加してくれて、子どもだけでなく親の友達づくり・仲間づくりができることが私たちの喜びです。

「子どもたちに生きる力を育ててほしい、自分の責任で自由に遊んでほしい」そんな思いを持っています。

絵本の読み聞かせをしている間にママたちにはアイスコーヒータイトップでティータイム。遊びを起点に親同士のつながりができたらうれしいですね。



今日は何して遊ぶのかな？

毎月第二水曜日に太尾南公園で活動しています。みなさんぜひ遊びに来てください。お待ちしております。



色水遊び！

もみじの会 ～車いすなどで福祉体験～

もみじの会では、夏休みに新吉田地区社協と協働で子どもたちを対象とした福祉体験会「車いすで買物＆ホットケーキを焼こう～！」を実施しました。

長年高齢者のミニデイサービスを開催してきたメンバーは、車いすの扱いはお手のもの。車いすで行ってみると歩道に危険箇所が多いこと、アイマスクをしてホットケーキを焼くことがとても難しいこと、わかりました。この様な体験を通じて「福祉の大切さ」を知



車いすで高いところ届くかな？

り、障害のある人に対して、自らちょっとした優しさや手助けができるようになってもらえたらと願っています。健康の有難さと福祉の必要性を改めて感じながら、今年も3日間、暑い暑い夏休みの貴重な体験会でした。



アイマスクしてホットケーキ作り

畑っこサークル新羽 ～暑い中でのジャガイモ収穫体験～

7月13日(土)、非常に暑い中で熱中症に注意しながらジャガイモの収穫を行いました。

20分に1回の給水タイムと子供達を冷房の効いた会館に避難させたのは正解でした。

ジャガイモは例年の半分ぐらいの収穫でした。この近くの畑では農家の方でも同じような状態です。異常な天候のためだと思います。農家の方が、「毎年が1年生」と言っている



ジャガイモ収穫中

のが良く理解できました。それでも参加した家族には平均で10キロ程度の分配が出来ました。



みんなでこんなに収穫できたよ

地域が主役「ひっとプラン港北」

「ひっとプラン港北」(港北区地域福祉保健計画・港北区地域福祉活動計画)は、「ひろがる」「つながる」「とどく」をキーワードに、地域と行政、事業所等が協力して「誰もが安心して暮らせるまち港北」を目指す計画です。この通信では地域での取組の一部を紹介していきます。

今回は
「ひろがる」
取組を
紹介するよ!!



安心と思いがりが「ひろがる」

「手作りベンチの設置」(菊名地区)

「高齢者が安全、安心な地域を実現するための環境づくり」に取り組む、菊名篠原北地区(篠原北、錦が丘、富士塚の一部、篠原町の一部)。山坂が多く、高齢の方も多く住むこの地域に、誰でも気軽に休憩ができるようベンチを設置しようという声があがりました。

現在6か所に置かれているベンチは地域に住む方の手作りで、色鮮やかに仕上がりました。高齢の方だけでなく親子連れにも利用されており、地域の小さな交流の場となっています。



担い手が「ひろがる」

「城郷地区ボランティア連絡会」(城郷地区)

『困った時にはお互い様』の精神で、ボランティア団体同士が手を取りあいながら地域の皆さんの困り事に対応できるよう「城郷地区ボランティア連絡会」が昨年発足しました。今年の5月には念願の「ボランティアのつどい」を開催し、同じ地区で活動している多くの仲間が顔を合わせて、地道に活動を続ける勇気と自信を持つことができました。今後は、新たな担い手育成にも着目し、気軽にボランティア活動ができるようなきっかけづくりもしていきます。



「ボランティアのつどい」の様子

理解が「ひろがる」

「徘徊高齢者探してネット」(新吉田地区)

新吉田地区は区内で一番高齢化率が高く、高齢者に関する支援の必要性が年々高まっています。そんな中、「徘徊する高齢者を地域のつながりで探そう」という考えから、プロジェクトチームを立ち上げ、具体的な活動内容の話し合いをしています。

同様の活動は、既に新吉田あすなろ地区で実施されており、ゆくゆくは地区を越えてネットワークができることを目指しています。子どもから高齢者まで、思いやりのあるまちづくりに取り組んでいきます。



「探してネット」のイメージ図

「あすなろさがしてネット」(新吉田あすなろ地区)

徘徊している高齢者や障がい者を地域で早期に発見し、保護する地域のネットワーク「あすなろさがしてネット」の取組も7年目を迎え、地域での認知症への理解が徐々に広がっています。今年度は、隣接する新吉田地区でも「さがしてネット」の実施に向けて具体的な検討が始まっており、さらにネットワークが広がることも期待されます。新吉田あすなろ地区は、誰もが困っている人に手を差し伸べられるまちを目指します。定期的に情報メールを配信していますので、右のQRコードから登録してみてください。空メールを送れば登録完了になります。



商店街等の拠点にあるステッカー

「ひっとプラン港北」に関する問合せ先

港北区福祉保健センター 福祉保健課 事業企画担当

☎ 540-2360

FAX 540-2368

✉ ko-fukuhoplan@city.yokohama.jp

HP <http://www.city.yokohama.lg.jp/kohoku/fukuho/fukuhoikeikaku.html>